

1. プログラム名：日本救急医学会救急科専門医取得コース

2. 指導責任者：行岡哲男（救急医学主任教授），太田祥一（同代行）

3. 主な指導者：三島史朗（同准教授），金子直之（同准教授），織田 順（同准教授），大高祐一（同助教），新井隆男（同助教），河井健太郎（同助教）他

4. プログラムの概要（目標，特色など）

救急科専門医取得を第一目標とする全国的にも最も標準的なコースです。救急医療は医療の原点ともいわれており，その体制の充実が国の主要施策の一つですので，専門医は全国どこでもニーズがあります。救急医が対応すべき領域は，生活習慣病の悪化から外因（外傷・熱傷・災害）まで幅広く，さらに，病院前救急システムの充実，医療従事者だけでなく一般市民への蘇生法等の教育等の社会的な要請もあり，そのニーズは増える一方なので，将来、地域医療を担うという方にも有用です。このプログラムでは，まず，救急初期診療・集中治療の習得を目指し，さらに根本的な治療に参画できるまで，幅広く，深い研修を行います。

5. 年度毎の研修内容（例）

東京医科大学病院救命救急センター（大都市重症型）八王子医療センター救命救急センター（ER型併用）での研修が中心です。院内他科での上部消化管内視鏡，超音波検査，画像診断等の研修を選択できます。希望を最大限叶えるために，詳細な研修内容・期間は相談の上で決定します。学会発表や論文執筆，off-the-job トレーニングとして二次救命処置や外傷，災害等の各種標準化救急プログラム受講，指導を推奨しています。

6. 週間スケジュール

8:30 カンファレンス

午前 回診

月 7:45 抄読会 16:00 医局会

勉強会 適宜

7. 取得できる資格

日本救急医学会救急科専門医，各種標準化救急プログラムプロバイダー・インストラクター

8. プログラム終了の評価・認定方法

日本救急医学会救急科専門医取得

9. 処遇・待遇

- ・ 当院の規程に準じます。原則的に医師3～5年目は後期研修医としての採用で，健康保

険，厚生年金，労災保険に加入します。

- ・ 週 1 日（当直も含め 24 時間）、土日月 1 回は院外で勤務します。週 1 日（当直も含め 24 時間）、土日月 1 回は院外で勤務します。大学病院，救命救急センター以外の経験ができ，特徴ある臨床経験ができます。
- ・ 6 年目以降の採用，転科，学位取得等将来設計についても相談に応じます。

10. その他

臨床はもちろん，研究・教育・指導にも力を入れています。将来，どのような診療科を専門とするにしても，社会的に嘱望されている専門医を取得しておくことで，将来，開業されても選択の幅が広がります。院外勤務では ER から在宅医療等までできるかぎり希望にあわせてアレンジします。後期研修終了後でも実際のなプログラムです。極力，時代にあった楽しく，充実した研修を目指しています。